



5月10日は地質の日！

5月10日は「地質の日」。1876（明治9）年5月10日、日本で初めて広域の地質図「日本蝦夷地質要略之図」（200万分の1）が作成されました。さらに2年後の1878年（明治11）年5月10日には、「内務省地理局地質課」が地質の調査を扱う組織として誕生しました。「地質の日」はこれらの出来事にちなみ、地質への理解を深める日として制定されました。

・私たちの生活を支える「地質」

では、地質とはそもそも何でしょうか？私たちが暮らしている地面は、様々な種類の地層や岩石からできています。地質とは、これらの地層や岩石の状態や性質のことです。地層や岩石は、山が隆起したり、海の中で土砂がたまったり、地下から湧き上がってきたマグマが冷え固まったり、火山が噴火したりしてできます。そのため地質は、地層や岩石がどうやってできたかを知る手掛かりになると同時に、その性質で私たちの暮らしに様々な面から影響しています。

例えば、石油や鉱物などの地質資源に加えて、火山の麓に湧き出す温泉、美しい景観、農業に適した土地なども、地質に関連した恵みです。一方で、地質は火山や地震、土砂崩れなどの災害とも深く関係しています。そのため、地質を調べることは、私たちが暮らす大地の歴史を知ることであると同時に、大地の恵みと災害について明らかにし、よりよい社会を築いていくために重要です。まさにジオパークでの基本的な活動と言えます。

・大地について学ぼう

毎年5月10日を中心に、全国の博物館や大学などで「地質の日」を記念したイベントが開催されます。日本地質学会のWebページ (<https://www.gsj.jp/geologyday/>) では関連イベントの一覧を見ることができます。ぜひこれを機に地質のこと、大地のこと、もっと知ってみませんか？



「地質の日」記念ミニ展示

地質の日を記念して、「うみのわ」でミニ展示を開催中！
土佐清水の岩石をはじめ、全国のジオパークから来た岩石標本を展示しています。

「らんまん」関連展示 「牧野博士の礎を築いた土佐清水」開催中！

放映中のNHK連続テレビ小説「らんまん」主人公のモデルとなった牧野富太郎博士の紹介展示を、市内の2会場で開催中です。土佐清水ゆかりの植物と牧野博士のエピソードを、牧野博士自筆の植物画とともに紹介しています。土佐清水で発見され、牧野博士が命名した「ヤッコソウ」のパネルも展示中！若き日の牧野博士が訪れ、知識と情熱を育んだ地、土佐清水。土佐清水と牧野博士との意外な繋がりも分かるかも・・・？



会場：

- ・万次郎足湯（土佐清水市足摺岬482-1）8:00～19:00（定休：水曜日）
- ・竜串ビジターセンターうみのわ（土佐清水市三崎4032-2）
9:00～17:00（休館：火曜日 ※7～9月：無休）

自然ふれあい行事 「土佐清水の植物観察会 ～桜浜編～」

桜浜に生育する春の草花を観察しながら、砂浜の植物について学びます。

日時：5月20日（土）13:00～16:30

場所：竜串ビジターセンターうみのわ（土佐清水市三崎4032-2）

対象：小学生以上（小学3年生以下は保護者同伴）

参加料：500円（保険料含む）

申込：0880-87-9500 竜串ビジターセンターうみのわ

発行

一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会

〒787-0450

土佐清水市三崎4032-2

TEL 87-9590

MAIL geopark@tosashimizu-geo.jp

WEB

